

中野市総合計画  
後期基本計画策定のための  
**市民意識調査・速報**

平成22年 8 月  
中 野 市

〈アンケート集計報告の留意事項〉

1) 本アンケートの概要は次のとおりです。

- ①調査目的：中野市総合計画・後期基本計画策定のための基礎資料として。
- ②調査対象：16歳以上の市民3,000人を無作為抽出
- ③調査期間：平成22年6月15日～6月30日
- ④調査方法：郵便等による配布・回収
- ⑤調査結果：配布票数3,000  
／回収票数1,208／回収率40.3%

2) 集計上の留意点

- ①回答率（割合）は、小数第2位を四捨五入して小数第1位までを表記しました。このため、合計が100%にならないことがあります。
- ②複数回答方式では、百分率の合計が100%を超えることがあります。

## 〈目次〉

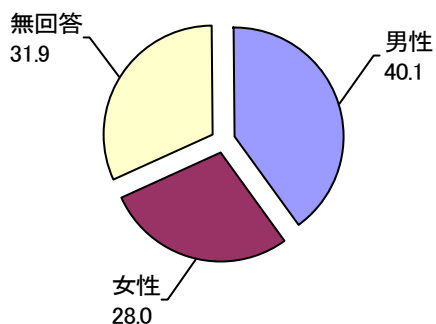
1	はじめに、あなたご自身のことについておたずねします……………	3
2	あなたの人生や生活に対する考え方をおたずねします……………	6
3	住みよさの評価と定住の意向についておたずねします……………	10
4	暮らしを取り巻くさまざまな環境についておたずねします……………	13
5	教育・文化についておたずねします……………	19
6	福祉・健康についておたずねします……………	21
7	土地利用や都市基盤の整備、地域経済の活性化について おたずねします……………	27
8	地域活動への参加や市政との関わりについておたずねします……………	40
9	市役所の仕事についておたずねします……………	49

# 1 はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

## ●回答者性別

	人数	割合(%)
男性	485	40.1
女性	338	28.0
無回答	385	31.9
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

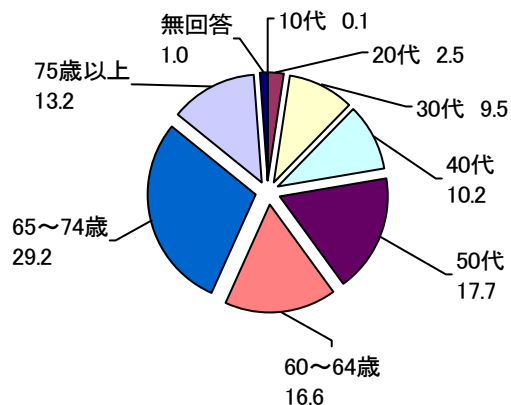
回答者性別(総数1,208、単位%)



## ●回答者年齢

	人数	割合(%)
10代	1	0.1
20代	30	2.5
30代	115	9.5
40代	123	10.2
50代	214	17.7
60～64歳	200	16.6
65～74歳	353	29.2
75歳以上	160	13.2
無回答	12	1.0
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

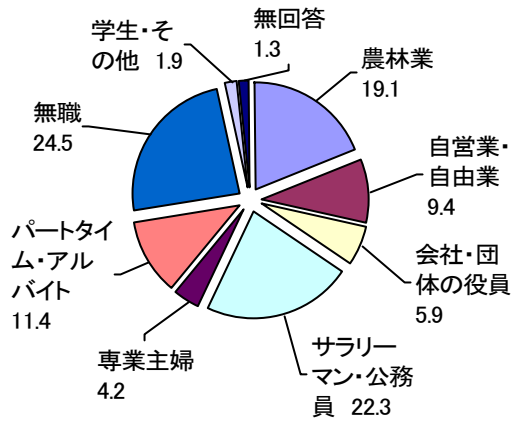
回答者年齢(総数1,208、単位%)



## ●回答者職業

	人数	割合(%)
農林業	231	19.1
自営業・自由業	113	9.4
会社・団体の役員	71	5.9
サラリーマン・公務員	269	22.3
専業主婦	51	4.2
パートタイム・アルバイト	138	11.4
無職	296	24.5
学生・その他	23	1.9
無回答	16	1.3
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

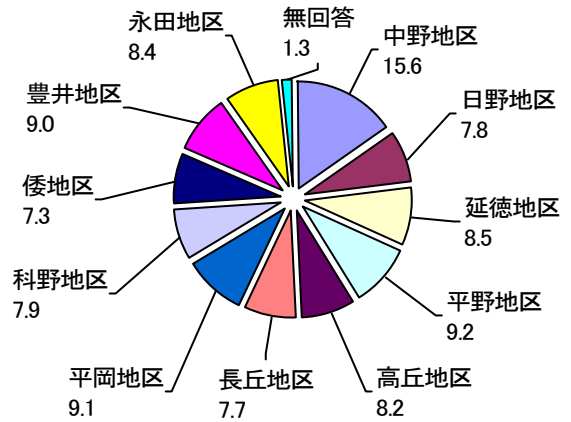
回答者職業(総数1,208、単位%)



●回答者居住地区

	人数	割合 (%)
中野地区	188	15.6
日野地区	94	7.8
延徳地区	103	8.5
平野地区	111	9.2
高丘地区	99	8.2
長丘地区	93	7.7
平岡地区	110	9.1
科野地区	96	7.9
倭地区	88	7.3
豊井地区	109	9.0
永田地区	101	8.4
無回答	16	1.3
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

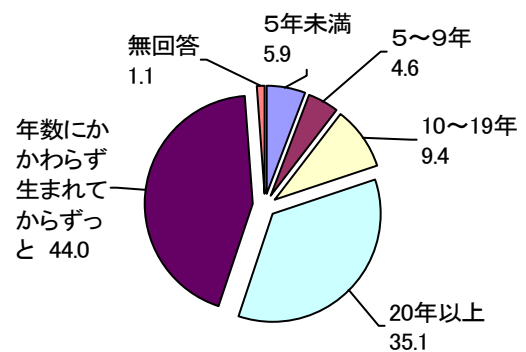
回答者居住地区(総数1,208、単位%)



●回答者住居歴

	人数	割合 (%)
5年未満	71	5.9
5～9年	55	4.6
10～19年	113	9.4
20年以上	424	35.1
年数にかかわらず生まれてからずっと	532	44.0
無回答	13	1.1
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

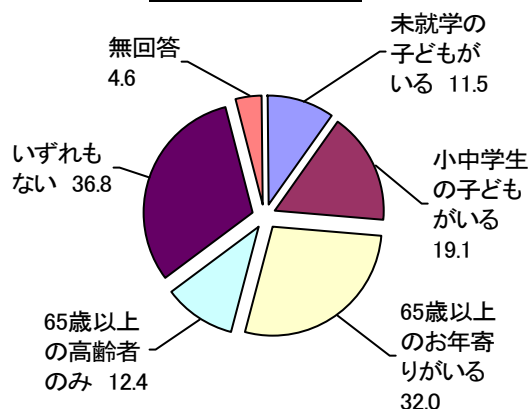
回答者居住歴(総数1,208、単位%)



●回答者家族の子どもとお年寄りの構成

	人数	割合(%)
未就学の子どもがいる	139	11.5
小中学生の子どもがいる	231	19.1
65歳以上のお年寄りがいる	387	32.0
65歳以上の高齢者のみ	150	12.4
いずれもない	444	36.8
無回答	56	4.6
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

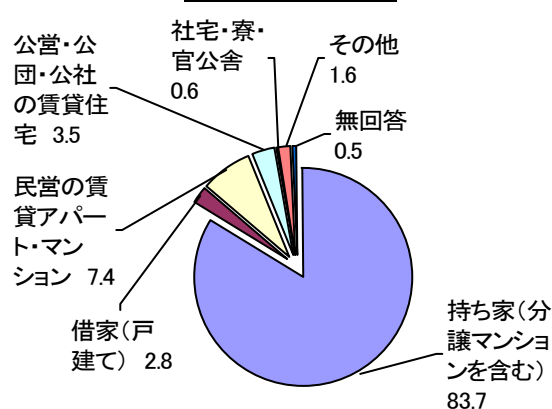
回答者家族の子どもとお年寄りの構成  
(総数1,208、単位%)



●回答者お住まい

	人数	割合(%)
持ち家(分譲マンションを含む)	1,011	83.7
借家(戸建て)	34	2.8
民営の賃貸アパート・マンション	89	7.4
公営・公団・公社の賃貸住宅	42	3.5
社宅・寮・官公舎	7	0.6
その他	19	1.6
無回答	6	0.5
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

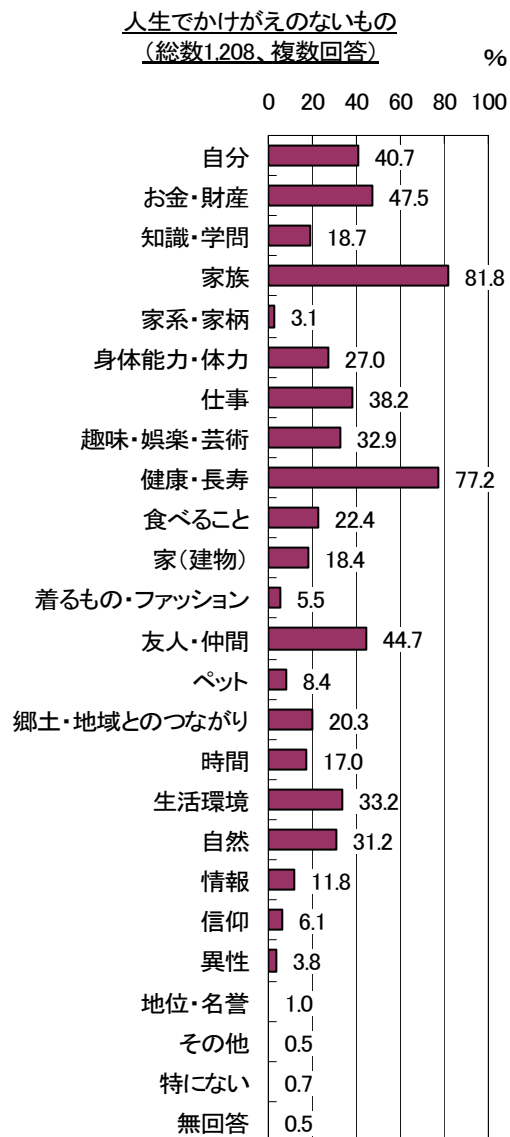
回答者家族の子どもとお年寄りの構成  
(総数1,208、単位%)



## 2 あなたの人生や生活に対する考え方をおたずねします。

問1 あなたの人生において、かけがえのない大切なものは何ですか。(〇はいくつでも)

	人数	割合(%)
自分	492	40.7
お金・財産	574	47.5
知識・学問	226	18.7
家族	988	81.8
家系・家柄	37	3.1
身体能力・体力	326	27.0
仕事	461	38.2
趣味・娯楽・芸術	397	32.9
健康・長寿	932	77.2
食べること	270	22.4
家(建物)	222	18.4
着るもの・ファッション	66	5.5
友人・仲間	540	44.7
ペット	101	8.4
郷土・地域とのつながり	245	20.3
時間	205	17.0
生活環境	401	33.2
自然	377	31.2
情報	142	11.8
信仰	74	6.1
異性	46	3.8
地位・名誉	12	1.0
その他	6	0.5
特にない	8	0.7
無回答	6	0.5
回答者数(%ベース)	1,208	100.0



●かけがえのないものは、「家族」と自分の「健康・長寿」が特に多くなっています。

《前回調査との比較》

■問1 あなたの人生において、かけがえない大切なものは何ですか。(○はいくつでも)(単位%)

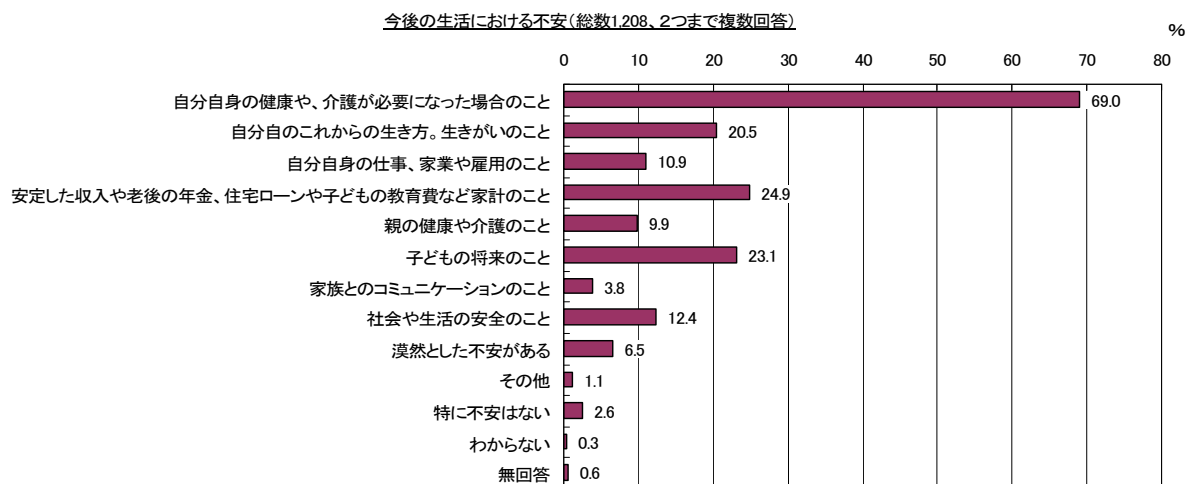
	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
自分	46.5	40.7
お金・財産	50.2	47.5
知識・学問	19.9	18.7
家族	83.1	81.8
家系・家柄	4.2	3.1
身体能力・体力	25.7	27.0
仕事	35.7	38.2
趣味・娯楽・芸術	32.6	32.9
健康・長寿	69.8	77.2
食べること	25.0	22.4
家(建物)	19.3	18.4
着るもの・ファッション	7.0	5.5
友人・仲間	50.7	44.7
ペット	10.5	8.4
郷土・地域とのつながり	16.1	20.3
時間	23.1	17.0
生活環境	35.5	33.2
自然	32.1	31.2
情報	12.4	11.8
信仰	5.2	6.1
異性	5.4	3.8
地位・名誉	1.6	1.0
その他	1.0	0.5
特にない	1.1	0.7
無回答	1.6	0.5
	100.0	100.0

※数値は比率が上昇したもの

- かけがえないものは、両調査とも「家族」と自信の「健康・長寿」が多くを占めます。
- 前回調査との比較では、「健康・長寿」「郷土・地域とのつながり」「仕事」などの比率が特に大きくなる傾向があります。

問2 あなたにとって、今後の生活において不安があるとすれば、どのようなものですか。(〇は2つまで)

	人数	割合(%)
自分自身の健康や、介護が必要になった場合のこと	834	69.0
自分自のこれからの生き方。生きがいのこと	248	20.5
自分自身の仕事、家業や雇用のこと	132	10.9
安定した収入や老後の年金、住宅ローンや子どもの教育費など家計のこと	301	24.9
親の健康や介護のこと	119	9.9
子どもの将来のこと	279	23.1
家族とのコミュニケーションのこと	46	3.8
社会や生活の安全のこと	150	12.4
漠然とした不安がある	78	6.5
その他	13	1.1
特に不安はない	32	2.6
わからない	4	0.3
無回答	7	0.6
回答者数(%ベース)	1,208	100.0



●生活の不安は、「自分自身の健康や、介護が必要になった場合のこと」が圧倒的に多くなっています。



《前回調査との比較》

■問2 あなたにとって、今後の生活において不安があるとすれば、どのようなものですか。(○は2つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
自分自身の健康や、介護が必要になった場合のこと	63.9	69.0
自分自のこれからの生き方。生きがいのこと	29.6	20.5
自分自身の仕事、家業や雇用のこと	22.4	10.9
安定した収入や老後の年金、住宅ローンや子どもの教育費など家計のこと	39.3	24.9
親の健康や介護のこと	19.5	9.9
子どもの将来のこと	27.5	23.1
家族とのコミュニケーションのこと	7.8	3.8
社会や生活の安全のこと	21.2	12.4
漠然とした不安がある	10.7	6.5
その他	1.2	1.1
特に不安はない	4.7	2.6
わからない	1.5	0.3
無回答	1.8	0.6
	100.0	100.0

※**数値**は比率が上昇したもの

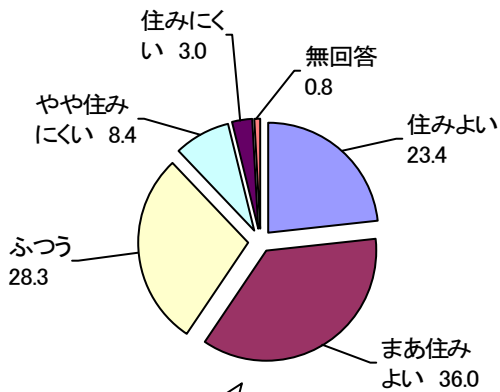
- 生活の不安は、両調査とも「自分自身の健康や、介護が必要になった場合のこと」が多くなっています。
- 前回調査との比較では、「自分自身の健康や、介護が必要になった場合のこと」に集中する傾向がより強くなっています。

### 3 住みよさの評価と定住の意向についておたずねします。

問3 中野市はあなたにとって住みよいところだと思いますか。(〇は1つ)

	人数	割合(%)
住みよい	283	23.4
まあ住みよい	435	36.0
ふつう	342	28.3
やや住みにくい	102	8.4
住みにくい	36	3.0
無回答	10	0.8
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

中野市は住みよいところか  
(総数1,208、単位%)

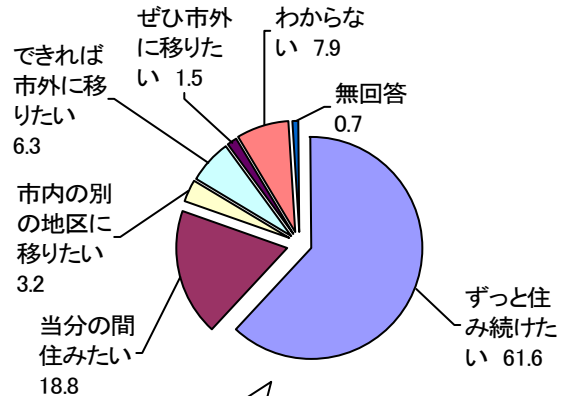


- 住みよさ評価は、「住みよい」「まあ住みよい」という人があわせて約6割を占め、良好な評価となっています。
- 「住みよい～済みにくい」を「2点～-2点」として平均点化すると0.7点となり、0点(=ふつう)を上回っています。

問4 あなたは今後も中野市に住み続けたいとお考えですか。(〇は1つ)

	人数	割合(%)
ずっと住み続けたい	744	61.6
当分の間住みたい	227	18.8
市内の別の地区に移りたい	39	3.2
できれば市外に移りたい	76	6.3
ぜひ市外に移りたい	18	1.5
わからない	95	7.9
無回答	9	0.7
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

今後も中野市に住み続けたいか  
(総数1,208、単位%)



- 定住意向は、「ずっと住み続けたい」「当分の間住みたい」があわせて約8割を占め、高い定住意向となっています。

《前回調査との比較》

■問3 中野市はあなたにとって住みよいところだと思いますか。

(○は1つ)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
住みよい	26.3	23.4
まあ住みよい	21.1	36.0
ふつう	40.3	28.3
やや住みにくい	5.7	8.4
住みにくい	3.8	3.0
無回答	2.8	0.8
	100.0	100.0

※数値は比率が上昇したもの

■問4 あなたは今後も中野市に住み続けたいとお考えですか。

(○は1つ)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
ずっと住み続けたい	59.5	61.6
当分の間住みたい	14.5	18.8
市内の別の地区に移りたい	3.4	3.2
できれば市外に移りたい	6.6	6.3
ぜひ市外に移りたい	1.6	1.5
わからない	12.8	7.9
無回答	1.6	0.7
	100.0	100.0

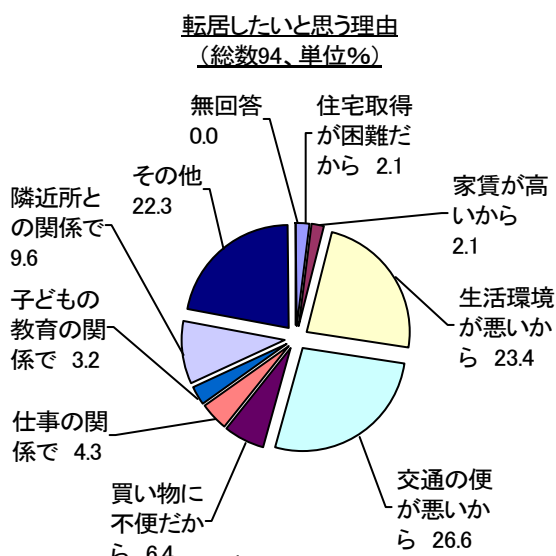
※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、「まあ住みよい」が大幅に増加しており、全体的な評価は向上しているといえます。  
●「住みよい～済みにくい」を「2点～-2点」として平均点化すると前回 0.6 点、今回 0.7 点で、評価点は高まっています。

●前回調査との比較では、「ずっと住み続けたい」「当分の間住みたい」ともに比率が高まっており、定住意向が高まっています。

問5 問4で「できれば市外に移りたい」または「ぜひ市外に移りたい」と答えた方におたずねします。転居したいと思う理由は何ですか。(○は1つ)

	人数	割合(%)
住宅取得が困難だから	2	2.1
家賃が高いから	2	2.1
生活環境が悪いから	22	23.4
交通の便が悪いから	25	26.6
買い物に不便だから	6	6.4
仕事の関係で	4	4.3
子どもの教育の関係で	3	3.2
隣近所との関係で	9	9.6
その他	21	22.3
無回答	0	0.0
回答者数(%ベース)	94	100.0



●転居したい理由は、「交通の便が悪いから」「生活環境が悪いから」が特に多くなっています。

《前回調査との比較》

■問5 問4で「できれば市外に移りたい」または「ぜひ市外に移りたい」と答えた方におたずねします。転居したいと思う理由は何ですか。(○は1つ)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
住宅取得が困難だから	0.4	2.1
家賃が高いから	0.4	2.1
生活環境が悪いから	18.1	23.4
交通の便が悪いから	25.0	26.6
買い物に不便だから	9.5	6.4
仕事の関係で	10.3	4.3
子どもの教育の関係で	1.7	3.2
隣近所との関係で	7.3	9.6
その他	26.7	22.3
無回答	0.4	0.0
	100.0	100.0

※**数値**は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、多くの項目で増加傾向がみられ、特に「生活環境が悪いから」を理由とする人が増えています。

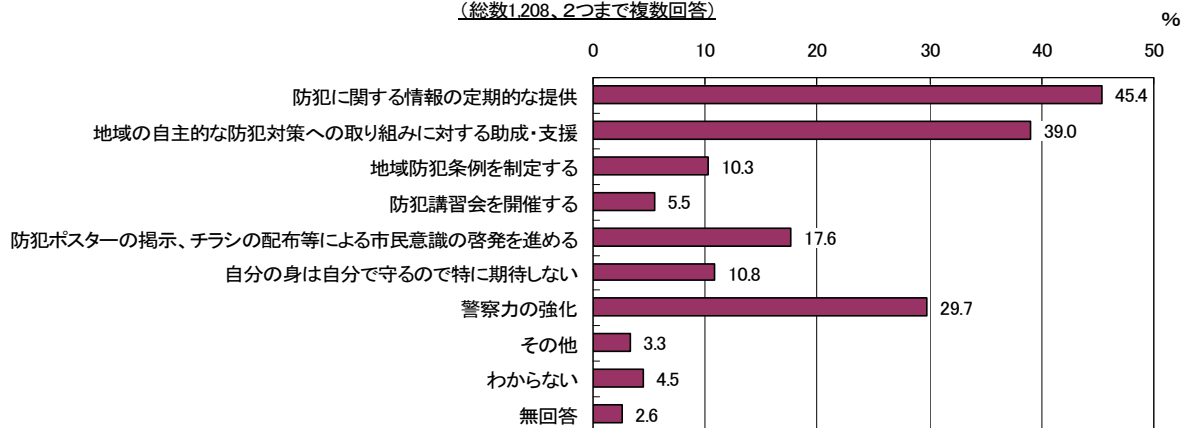
#### 4 暮らしを取り巻くさまざまな環境についておたずねします。

問6 犯罪のない、安心して住めるまちづくりのために、あなたは行政にどのようなことを期待しますか。

(〇は2つまで)

	人数	割合(%)
防犯に関する情報の定期的な提供	549	45.4
地域の自主的な防犯対策への取り組みに対する助成・支援	471	39.0
地域防犯条例を制定する	125	10.3
防犯講習会を開催する	67	5.5
防犯ポスターの掲示、チラシの配布等による市民意識の啓発を進める	213	17.6
自分の身は自分で守るので特に期待しない	130	10.8
警察力の強化	359	29.7
その他	40	3.3
わからない	54	4.5
無回答	31	2.6
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

犯罪のない、安心して住めるまちづくりのために、行政に期待すること  
(総数1,208、2つまで複数回答)



●「防犯に関する情報の定期的な提供」「地域の自主的な防犯対策への取り組みに対する助成・支援」「警察力の強化」などを求める声が多くなっています。

《前回調査との比較》

■問6 犯罪のない、安心して住めるまちづくりのために、あなたは行政にどのようなことを期待しますか。

(○は2つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
防犯に関する情報の定期的な提供	45.5	45.4
地域の自主的な防犯対策への取り組みに対する助成・支援	37.7	39.0
地域防犯条例を制定する	10.9	10.3
防犯講習会を開催する	5.8	5.5
防犯ポスターの掲示、チラシの配布等による市民意識の啓発を進める	13.6	17.6
自分の身は自分で守るので特に期待しない	9.6	10.8
警察力の強化	38.9	29.7
その他	2.2	3.3
わからない	5.9	4.5
無回答	2.9	2.6
	100.0	100.0

※数値は比率が上昇したもの

- 前回調査との比較では、「防犯ポスターの掲示、チラシの配布等による市民意識の啓発を進める」声が大きくなっているほか、「地域の自主的な防犯対策への取り組みに対する助成・支援」「自分の身は自分で守るので特に期待しない」などが増える傾向がみられます。
- 一方、「警察力の強化」を求める声が大きく減少しており、総じて『自主防犯』の意識が高まっているといえます。

問7 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の生活の安全性を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア) 消火・救急・救助活動など消防対策	14.4	24.9	48.1	6.2	1.8	4.6
イ) 交番・駐在所の身近さなど防犯・治安対策	8.6	18.0	48.8	14.4	4.7	5.4
ウ) 歩道・ガードレールなど交通安全対策	5.4	13.3	42.4	22.0	10.1	6.8
エ) 地すべり・浸水などの自然災害からの安全性	7.2	15.0	43.7	18.6	9.5	6.0
オ) 災害発生時の避難体制や防災の備え、自主防災対策	3.3	10.4	54.3	19.5	6.8	5.7
カ) 道路や家屋などの除雪対策	3.8	15.0	32.3	27.9	17.7	3.3

●安全性については、「消防対策」「防犯・治安対策」に対する評価は良好ですが、「交通安全対策」「自然災害対策」「自主防災対策」「除雪対策」などで不満がやや多くなっています。

問8 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の生活の利便性(便利さ)を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア) 通勤や通学の便利さ	8.9	16.3	39.4	17.5	9.4	8.4
イ) 買い物の便利さ	11.0	18.6	33.7	20.6	12.4	3.6
ウ) 病院・医院・診療所の身近さ	10.1	17.1	36.1	19.4	13.3	4.1
エ) 鉄道・バスなど公共交通の利用しやすさ	4.0	9.1	27.6	29.4	25.3	4.6
オ) 情報サービス(インターネット・CATVなど)の利用しやすさ	4.1	11.9	53.9	10.8	6.3	13.1
カ) 道路網や駐車場など自動車の利用のしやすさ	5.2	14.8	53.0	14.4	6.0	6.5
キ) 市役所や支所等の利用しやすさ	6.3	16.1	51.7	14.9	7.0	4.1

●利便性については、「情報サービス」「自動車利用」「市役所等の利用」については、ますますの評価だが、「公共交通」「医療」「買い物」「通勤・通学」については、厳しい評価となっています。

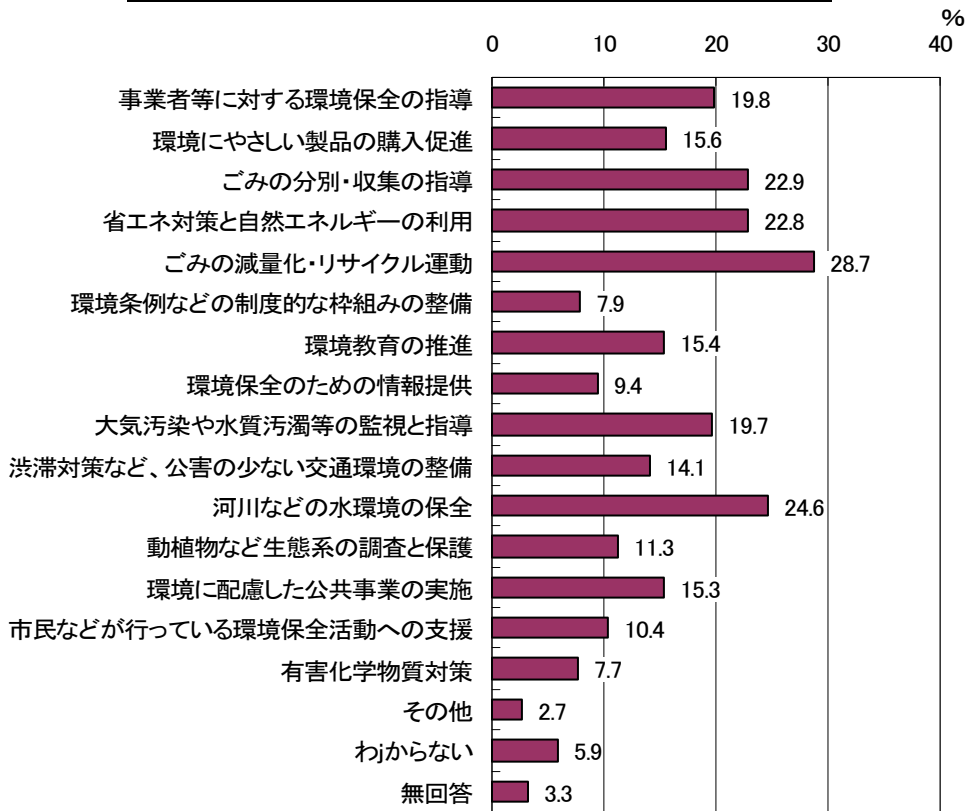
問9 あなたは、環境保全に関して、力を入れるべき施策はどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

	人数	割合(%)
事業者等に対する環境保全の指導	239	19.8
環境にやさしい製品の購入促進	188	15.6
ごみの分別・収集の指導	277	22.9
省エネ対策と自然エネルギーの利用	276	22.8
ごみの減量化・リサイクル運動	347	28.7
環境条例などの制度的な枠組みの整備	96	7.9
環境教育の推進	186	15.4
環境保全のための情報提供	114	9.4
大気汚染や水質汚濁等の監視と指導	238	19.7
渋滞対策など、公害の少ない交通環境の整備	170	14.1
河川などの水環境の保全	297	24.6
動植物など生態系の調査と保護	136	11.3
環境に配慮した公共事業の実施	185	15.3
市民などが行っている環境保全活動への支援	126	10.4
有害化学物質対策	93	7.7
その他	33	2.7
わからない	71	5.9
無回答	40	3.3
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

●環境保全については、「ごみの減量化・リサイクル運動」「水環境の保全」「ごみの分別・収集の指導」「省エネ対策と自然エネルギーの利用」などを重視する人が多く、「事業者等への指導」「大気汚染や水質汚濁の監視と指導」も比較的多くなっています。



環境保全に関して力を入れるべき施策(総数1,208、3つまで複数回答)



問 10 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の環境衛生面を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア)良質な水道水の安定的な供給	21.9	26.2	39.2	5.5	2.9	4.3
イ)下水・雨水の処理	11.3	22.8	47.8	8.8	3.1	6.1
ウ)ごみの収集回数や処理の方法	9.4	21.6	46.6	10.1	3.8	8.4
エ)ごみの不法投棄、ポイ捨て、犬猫のふんなどの対策	1.5	5.4	35.0	34.4	19.5	4.3
オ)自動車や工場等による騒音や振動、臭気の対策	6.2	12.9	57.2	11.5	6.2	6.0
カ)ハエ・蚊・アメリカシロヒトリなどの害虫対策	2.6	8.2	58.4	19.4	6.4	5.1
キ)河川・排水路の汚濁(おだく)対策	2.7	8.6	58.4	18.3	6.0	5.9

●環境衛生面の満足度は、「上水の供給」「下水・雨水処理」「ごみの収集・処理」などの評価がやや高く、「ごみの不法投棄等の対策」「害虫対策」「水質汚濁対策」などで不満が多くなっています。

問 11 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の快適性を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア)水や緑など自然の豊かさ	20.5	37.2	35.2	3.2	0.9	3.0
イ)広場や公園・緑地	7.5	20.9	44.3	15.7	7.1	4.5
ウ)住まいの日当たり、風通しなどの居住環境	18.9	30.3	37.1	7.9	2.2	3.6
エ)建物の間隔やゆとり	15.6	25.2	43.2	8.9	2.5	4.6
オ)住宅地の落ち着きや静けさ	16.8	26.3	42.8	7.0	3.1	4.0
カ)空気のきれいさ	21.3	29.5	38.6	4.6	1.8	4.3
キ)街や周辺の景観、集落の美観	10.4	20.4	54.6	8.4	1.7	4.5

●快適性については、「自然の豊かさ」「居住環境」「空気のきれいさ」「住宅地の落ち着き・静けさ」「建物の間隔やゆとり」「広場・公園」「景観・美観」など、すべての項目で良好な評価となっています。

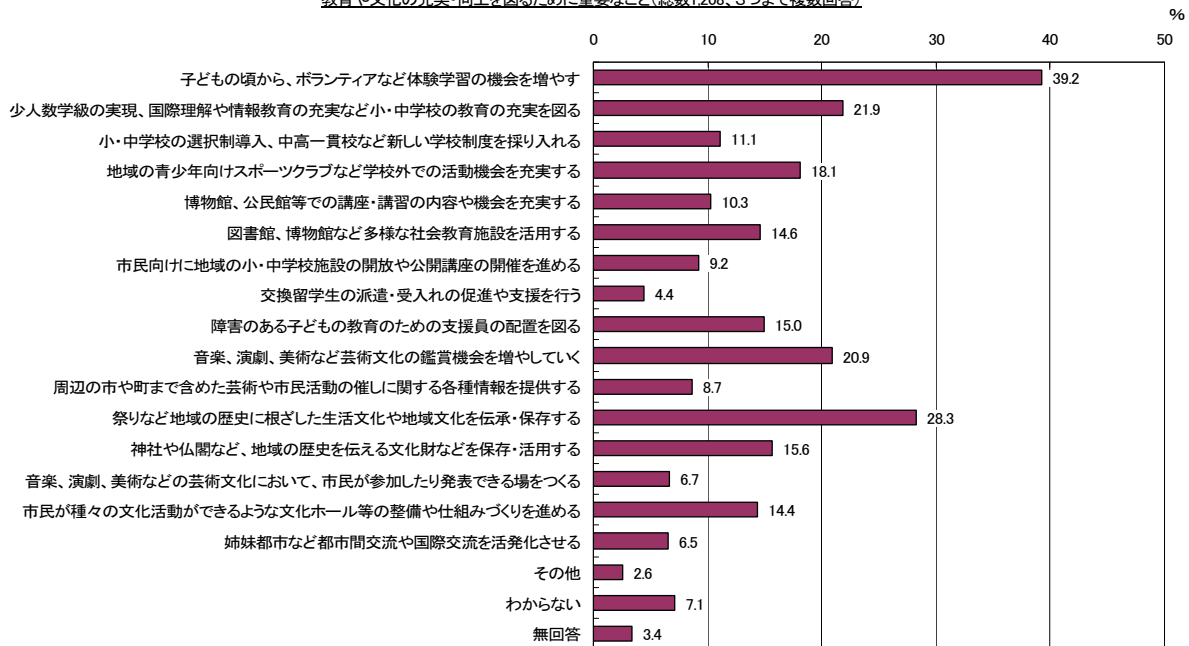
## 5 教育・文化についておたずねします。

問 12 あなたは、今後、中野市における教育や文化の充実・向上を図るために、どのようなことが重要であると思いますか。(〇は3つまで)

	人数	割合(%)
子どもの頃から、ボランティアなど体験学習の機会を増やす	473	39.2
少人数学級の実現、国際理解や情報教育の充実など小・中学校の教育の充実を図る	264	21.9
小・中学校の選択制導入、中高一貫校など新しい学校制度を採り入れる	134	11.1
地域の青少年向けスポーツクラブなど学校外での活動機会を充実する	219	18.1
博物館、公民館等での講座・講習の内容や機会を充実する	125	10.3
図書館、博物館など多様な社会教育施設を活用する	176	14.6
市民向けに地域の小・中学校施設の開放や公開講座の開催を進める	111	9.2
交換留学生の派遣・受入れの促進や支援を行う	53	4.4
障害のある子どもの教育のための支援員の配置を図る	181	15.0
音楽、演劇、美術など芸術文化の鑑賞機会を増やしていく	253	20.9
周辺の市や町まで含めた芸術や市民活動の催しに関する各種情報を提供する	105	8.7
祭りなど地域の歴史に根ざした生活文化や地域文化を伝承・保存する	342	28.3
神社や仏閣など、地域の歴史を伝える文化財などを保存・活用する	189	15.6
音楽、演劇、美術などの芸術文化において、市民が参加したり発表できる場をつくる	81	6.7
市民が種々の文化活動ができるような文化ホール等の整備や仕組みづくりを進める	174	14.4
姉妹都市など都市間交流や国際交流を活発化させる	78	6.5
その他	31	2.6
わからない	86	7.1
無回答	41	3.4
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

●教育・文化の向上のためには、「子どもの頃から、ボランティアなど体験学習の機会を増やす」が最も重要視されており、「祭りなど地域の歴史に根ざした生活文化や地域文化を伝承・保存する」「少人数学級の実現、国際理解や情報教育の充実など小・中学校の教育の充実」「音楽、演劇、美術など芸術文化の鑑賞機会を増やしていく」などを重視する人も比較的多くなっています。

教育や文化の充実・向上を図るために重要なこと(総数1,208、3つまで複数回答)



問 13 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の教育・文化的環境を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。(〇は1つ)(総数 1,208、単位%)

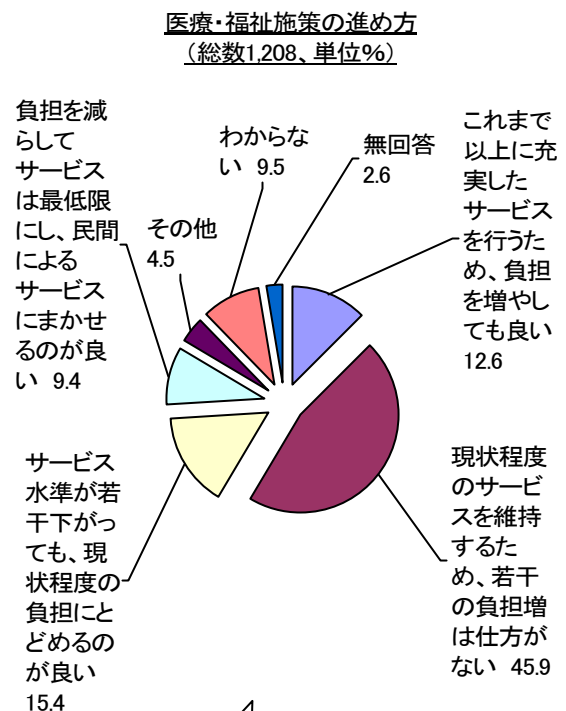
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア)小・中学校の教育環境	5.9	19.8	56.5	6.3	1.6	10.0
イ)音楽や美術など芸術・文化活動の場や機会	2.0	9.3	57.5	18.0	3.0	10.3
ウ)スポーツ活動やレクリエーション活動の場や機会	2.1	10.7	60.0	14.9	2.2	10.1
エ)公民館、図書館などの生涯学習拠点	2.6	12.1	58.2	14.8	2.5	9.8
オ)教育・文化・芸術・学術(自然科学・人文科学)に関する情報の得やすさ	1.3	7.5	56.0	21.3	3.4	10.6
カ)文化・芸術・学術活動をする仲間の得やすさ	0.9	5.2	56.9	21.4	4.1	11.6
キ)子ども達の地域活動への参加	2.5	9.9	59.4	14.2	3.1	10.9

●教育・文化的環境については、「小・中学校の教育環境」の満足度がやや高くなっていますが、その他の項目(「芸術・文化活動の場や機会」「スポーツ・レクリエーション活動の場や機会」「生涯学習拠点」「教育・文化・芸術・学術に関する情報の得やすさ」「文化・芸術・学術活動の仲間の得やすさ」「子ども達の地域活動参加」)ではやや厳しい評価となっています。

## 6 福祉・健康についておたずねします。

問 14 これからの社会は高齢化が一層進み、行政のサービス水準を維持するだけでも国民一人ひとりの負担が増大することが予測されます。あなたは、本市における医療・福祉施策をどのように進めていくのが良いと思いますか。(〇は1つ)

	人数	割合(%)
これまで以上に充実したサービスを行うため、負担を増やしても良い	152	12.6
現状程度のサービスを維持するため、若干の負担増は仕方がない	555	45.9
サービス水準が若干下がっても、現状程度の負担にとどめるのが良い	186	15.4
負担を減らしてサービスは最低限にし、民間によるサービスにまかせるのが良い	114	9.4
その他	54	4.5
わからない	115	9.5
無回答	32	2.6
回答者数(%ベース)	1,208	100.0



●医療・福祉サービスと負担のあり方について、「現状のサービス維持のため、若干の負担増は仕方がない」という声最も多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 14 これからの社会は高齢化が一層進み、行政のサービス水準を維持するだけでも国民一人ひとりの負担が増大することが予測されます。あなたは、本市における医療・福祉施策をどのように進めていくのが良いと思いますか。(〇は1つ)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
これまで以上に充実したサービスを行うため、負担を増やしても良い	7.4	12.6
現状程度のサービスを維持するため、若干の負担増は仕方がない	41.7	45.9
サービス水準が若干下がっても、現状程度の負担にとどめるのが良い	20.8	15.4
負担を減らしてサービスは最低限にし、民間によるサービスにまかせるのが良い	12.2	9.4
その他	4.0	4.5
わからない	10.5	9.5
無回答	3.4	2.6
	100.0	100.0

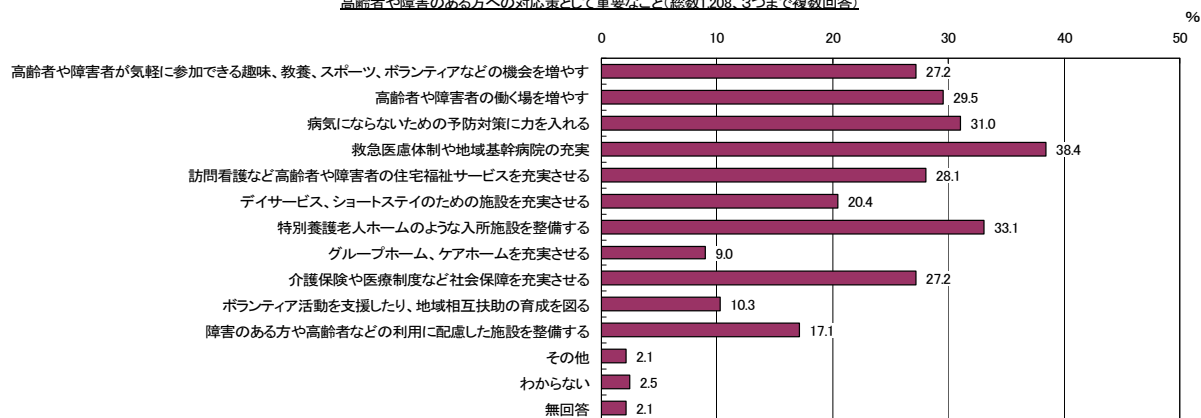
※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、「充実したサービスを行うため、負担を増やしても良い」「現状のサービスを維持するため、若干の負担増は仕方がない」という意見が増加しており、サービスの維持・向上のためには負担増をいとわない傾向が強まっています。

問 15 あなたは、今後、社会の高齢化が進行する中で、高齢者や障害のある方に対してどのような対応策を進めていくことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

	人数	割合(%)
高齢者や障害者が気軽に参加できる趣味、教養、スポーツ、ボランティアなどの機会を増やす	329	27.2
高齢者や障害者の働く場を増やす	356	29.5
病気にならないための予防対策に力を入れる	374	31.0
救急医慮体制や地域基幹病院の充実	464	38.4
訪問看護など高齢者や障害者の住宅福祉サービスを充実させる	339	28.1
デイサービス、ショートステイのための施設を充実させる	246	20.4
特別養護老人ホームのような入所施設を整備する	400	33.1
グループホーム、ケアホームを充実させる	109	9.0
介護保険や医療制度など社会保障を充実させる	328	27.2
ボランティア活動を支援したり、地域相互扶助の育成を図る	125	10.3
障害のある方や高齢者などの利用に配慮した施設を整備する	206	17.1
その他	25	2.1
わからない	30	2.5
無回答	25	2.1
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

高齢者や障害のある方への対応策として重要なこと(総数1,208、3つまで複数回答)

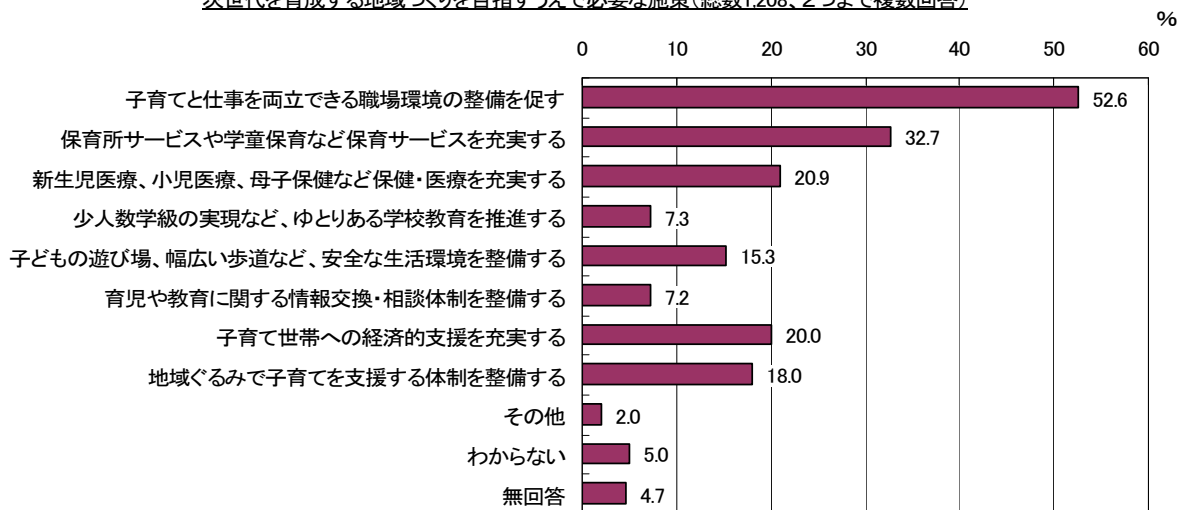


●高齢者・障害者対策としては、「救急医慮体制や地域基幹病院の充実」を求める声が多く、「特別養護老人ホームなどを整備する」「予防対策に力を入れる」などが続きます。

問 16 あなたは、安心して子どもを産み、喜んで育てたいと思えるような、次世代を育成する地域づくりを目指して、どのような施策を行うべきだと思いますか。(〇は2つまで)

	人数	割合(%)
子育てと仕事を両立できる職場環境の整備を促す	635	52.6
保育所サービスや学童保育など保育サービスを充実する	395	32.7
新生児医療、小児医療、母子保健など保健・医療を充実する	252	20.9
少人数学級の実現など、ゆとりある学校教育を推進する	88	7.3
子どもの遊び場、幅広い歩道など、安全な生活環境を整備する	185	15.3
育児や教育に関する情報交換・相談体制を整備する	87	7.2
子育て世帯への経済的支援を充実する	241	20.0
地域ぐるみで子育てを支援する体制を整備する	217	18.0
その他	24	2.0
わからない	61	5.0
無回答	57	4.7
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

次世代を育成する地域づくりを目指すうえで必要な施策(総数1,208、2つまで複数回答)



●次世代育成対策としては、「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備を促す」ことを求める声が増えています。



《前回調査との比較》

■問 16 あなたは、安心して子どもを産み、喜んで育てたいと思えるような、次世代を育成する地域づくりを目指して、どのような施策を行うべきだと思いますか。(〇は2つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
子育てと仕事を両立できる職場環境の整備を促す	48.9	52.6
保育所サービスや学童保育など保育サービスを充実する	27.1	32.7
新生児医療、小児医療、母子保健など保健・医療を充実する	12.7	20.9
少人数学級の実現など、ゆとりある学校教育を推進する	8.8	7.3
子どもの遊び場、幅広い歩道など、安全な生活環境を整備する	20.6	15.3
育児や教育に関する情報交換・相談体制を整備する	8.3	7.2
子育て世帯への経済的支援を充実する	31.0	20.0
地域ぐるみで子育てを支援する体制を整備する	18.3	18.0
その他	1.6	2.0
わからない	4.9	5.0
無回答	4.9	4.7
	100.0	100.0

※**数値**は比率が上昇したもの

●前回調査と比較すると、「保健・医療の充実」「保育サービスの充実」「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備」などに意見が集中する傾向がみられます。

問 17 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の福祉的な環境、人間性を大切にする環境を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア) 地域の人とのつながりやふれあい、ささえあい	4.1	17.7	60.0	10.7	2.6	4.9
イ) 高齢者や障害のある人に対する福祉対策	1.3	8.4	58.2	21.7	4.2	6.2
ウ) お年寄りの憩いの場や活動の機会	1.6	7.5	56.1	24.1	4.2	6.5
エ) 子どもの遊び場や子ども同士のふれあい	1.0	5.5	52.6	27.2	5.0	8.8
オ) 子どもに対する福祉対策(保育や子育て支援)	1.3	7.9	60.1	19.0	3.0	8.7
カ) 差別のない明るい社会環境	2.5	9.8	65.8	11.2	3.4	7.4
キ) 障害のある方や高齢者が使いやすい公共施設の改善	1.4	5.5	53.6	27.0	5.6	7.0

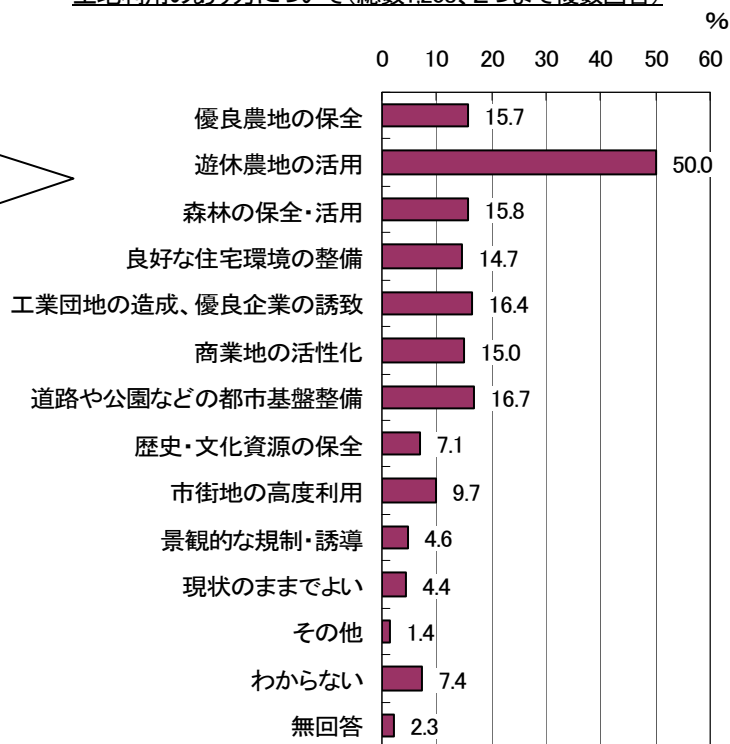
●福祉環境については、「地域の人とのつながりやふれあい、ささえあい」について若干評価が高くなっていますが、その他の項目(「高齢者・障害者対策」「高齢者の憩いの場や活動の機会」「子どもの遊び場や子ども同士のふれあい」「児童福祉対策」「差別のない社会環境」「公共施設のバリアフリー化」)などの評価はやや厳しくなっています。

## 7 土地利用や都市基盤の整備、地域経済の活性化についておたずねします。

問 18 あなたは、本市の土地利用のあり方について、どのようにお考えですか。(〇は2つまで)

	人数	割合(%)
優良農地の保全	190	15.7
遊休農地の活用	604	50.0
森林の保全・活用	191	15.8
良好な住宅環境の整備	178	14.7
工業団地の造成、優良企業の誘致	198	16.4
商業地の活性化	181	15.0
道路や公園などの都市基盤整備	202	16.7
歴史・文化資源の保全	86	7.1
市街地の高度利用	117	9.7
景観的な規制・誘導	56	4.6
現状のままでよい	53	4.4
その他	17	1.4
わからない	89	7.4
無回答	28	2.3
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

土地利用のあり方について(総数1,208、2つまで複数回答)



●土地利用のあり方については、「遊休農地の活用」が重要とする声が圧倒的に多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 18 あなたは、本市の土地利用のあり方について、どのようにお考えですか。(○は2つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
優良農地の保全	28.8	15.7
遊休農地の活用	51.2	50.0
森林の保全・活用	23.1	15.8
良好な住宅環境の整備	20.7	14.7
工業団地の造成、優良企業の誘致	16.9	16.4
商業地の活性化	22.7	15.0
道路や公園などの都市基盤整備	19.8	16.7
歴史・文化資源の保全	11.9	7.1
市街地の高度利用	14.3	9.7
景観的な規制・誘導	17.7	4.6
現状のままでよい	4.6	4.4
その他	1.3	1.4
わからない	9.1	7.4
無回答	2.4	2.3
	100.0	100.0

\* 平成 17 年の調査では、「道路や公園などの都市基盤整備」に相当する設問が二つに分かれ、「主要幹線道路の活性化」10.7%、「都市基盤整備」19.4%となっている。

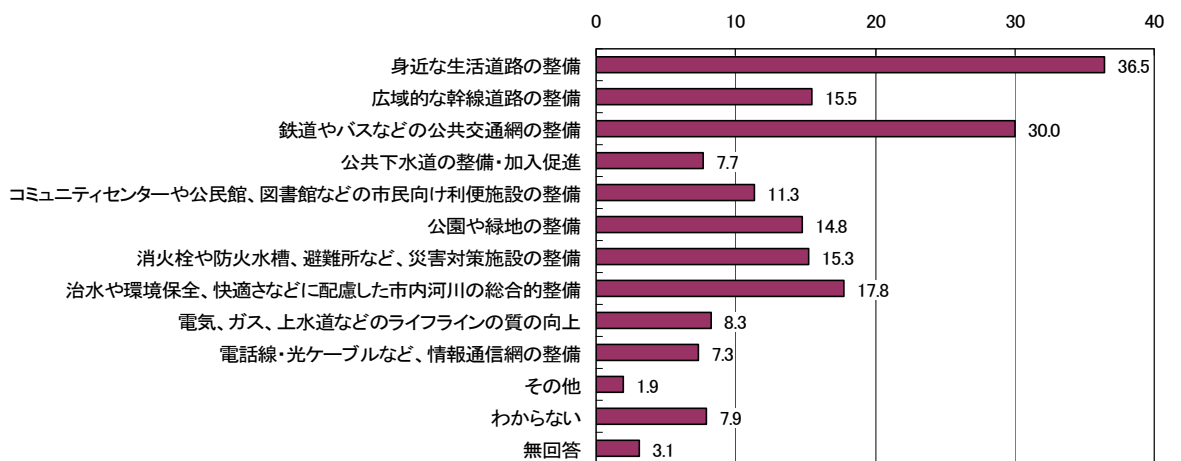
※**数値**は比率が上昇したもの

●前回調査と比較すると、やはり「遊休農地の活用」を重視する傾向が強いものの、「その他」を除くすべての項目で構成比が少なくなっており、意見の分散化傾向がみられます。

問 19 あなたは、都市基盤の整備について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。(〇は2つまで)

	人数	割合(%)
身近な生活道路の整備	441	36.5
広域的な幹線道路の整備	187	15.5
鉄道やバスなどの公共交通網の整備	362	30.0
公共下水道の整備・加入促進	93	7.7
コミュニティセンターや公民館、図書館などの市民向け利便施設の整備	136	11.3
公園や緑地の整備	179	14.8
消火栓や防火水槽、避難所など、災害対策施設の整備	185	15.3
治水や環境保全、快適さなどに配慮した市内河川の総合的整備	215	17.8
電気、ガス、上水道などのライフラインの質の向上	100	8.3
電話線・光ケーブルなど、情報通信網の整備	88	7.3
その他	23	1.9
わからない	96	7.9
無回答	37	3.1
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

都市基盤の整備で重点的に取り組むべきこと(総数1,208、2つまで複数回答)



●都市基盤整備については、「身近な生活道路の整備」「鉄道やバスなどの公共交通網の整備」を求める声が多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 19 あなたは、都市基盤の整備について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思いますか。(〇は2つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
身近な生活道路の整備	49.2	36.5
広域的な幹線道路の整備	18.0	15.5
鉄道やバスなどの公共交通網の整備	41.1	30.0
公共下水道の整備・加入促進	11.1	7.7
コミュニティセンターや公民館、図書館などの市民向け 便利施設の整備	18.3	11.3
公園や緑地の整備	27.3	14.8
消火栓や防火水槽、避難所など、災害対策施設の整備	25.5	15.3
治水や環境保全、快適さなどに配慮した市内河川の 総合的整備	19.8	17.8
電気、ガス、上水道などのライフラインの質の向上	13.1	8.3
電話線・光ケーブルなど、情報通信網の整備	15.1	7.3
その他	2.0	1.9
わからない	8.2	7.9
無回答	3.0	3.1
	100.0	100.0

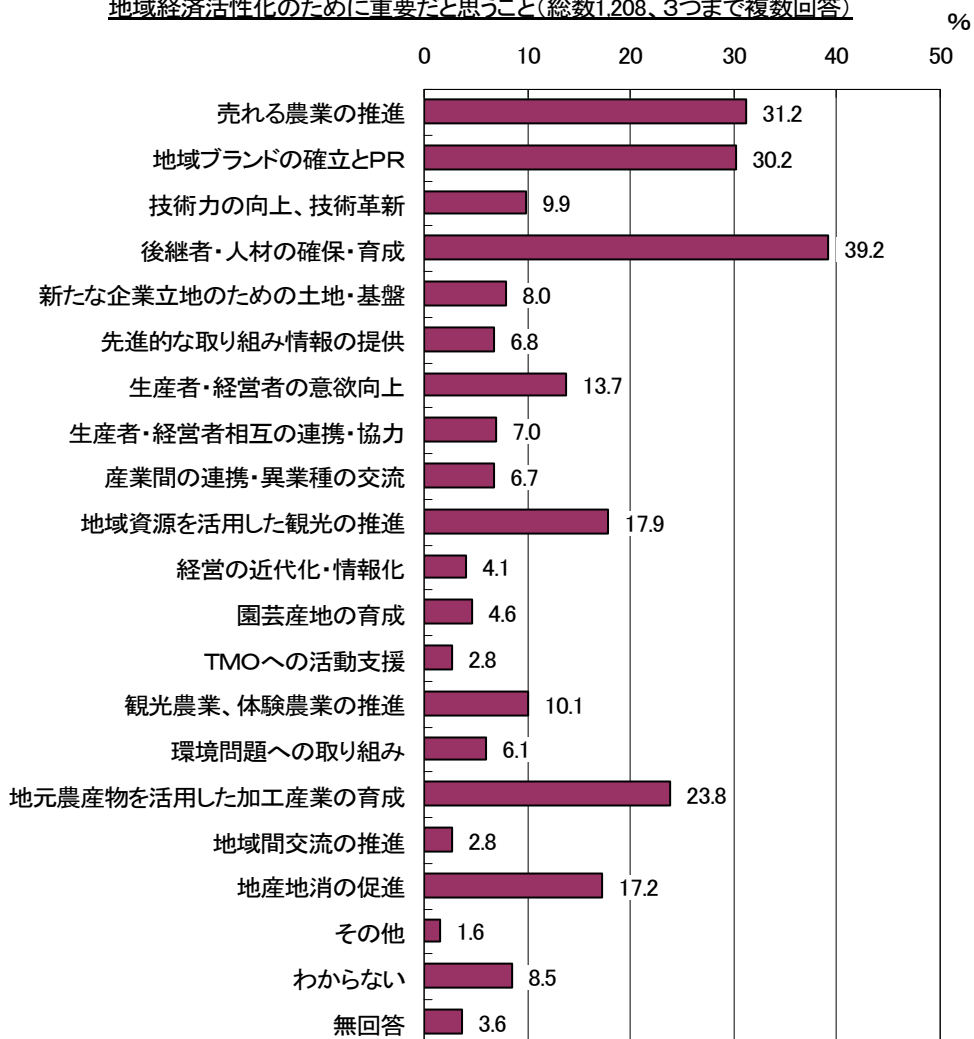
※**数値**は比率が上昇したもの

●前回調査と比較すると、無回答を除くすべての項目で構成比が少なくなっており、意見の分散化がみられます。なかでも、「生活道路の整備」「公共交通網の整備」「公園・緑地整備」「災害対策施設の整備」などへの意見の集中が緩和する傾向にあります。

問 20 あなたは、地域経済の活性化のために、どのような点が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

	人数	割合(%)
売れる農業の推進	377	31.2
地域ブランドの確立とPR	365	30.2
技術力の向上、技術革新	119	9.9
後継者・人材の確保・育成	474	39.2
新たな企業立地のための土地・基盤	97	8.0
先進的な取り組み情報の提供	82	6.8
生産者・経営者の意欲向上	166	13.7
生産者・経営者相互の連携・協力	84	7.0
産業間の連携・異業種の交流	81	6.7
地域資源を活用した観光の推進	216	17.9
経営の近代化・情報化	49	4.1
園芸産地の育成	55	4.6
TMOへの活動支援	34	2.8
観光農業、体験農業の推進	122	10.1
環境問題への取り組み	74	6.1
地元農産物を活用した加工産業の育成	287	23.8
地域間交流の推進	34	2.8
地産地消の促進	208	17.2
その他	19	1.6
わからない	103	8.5
無回答	43	3.6
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

地域経済活性化のために重要だと思うこと(総数1,208、3つまで複数回答)



●地域経済活性化については、「後継者・人材の確保・育成」「売れる農業の推進」「地域ブランドの確立とPR」などを特に重視しています。



《前回調査との比較》

■問 20 あなたは、地域経済の活性化のために、どのような点が重要だと思いますか。

(○は3つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
売れる農業の推進	33.0	31.2
地域ブランドの確立とPR	11.2	30.2
技術力の向上、技術革新	38.4	9.9
後継者・人材の確保・育成	5.8	39.2
新たな企業立地のための土地・基盤	8.9	8.0
先進的な取り組み情報の提供	15.9	6.8
生産者・経営者の意欲向上	9.5	13.7
生産者・経営者相互の連携・協力	5.7	7.0
産業間の連携・異業種の交流	16.5	6.7
地域資源を活用した観光の推進	15.2	17.9
経営の近代化・情報化	14.1	4.1
園芸産地の育成	3.9	4.6
TMOへの活動支援	8.8	2.8
観光農業、体験農業の推進	2.3	10.1
環境問題への取り組み	23.7	6.1
地元農産物を活用した加工産業の育成	6.1	23.8
地域間交流の推進	15.2	2.8
地産地消の促進	1.0	17.2
その他	11.0	1.6
わからない	0.0	8.5
無回答	4.5	3.6
	100.0	100.0

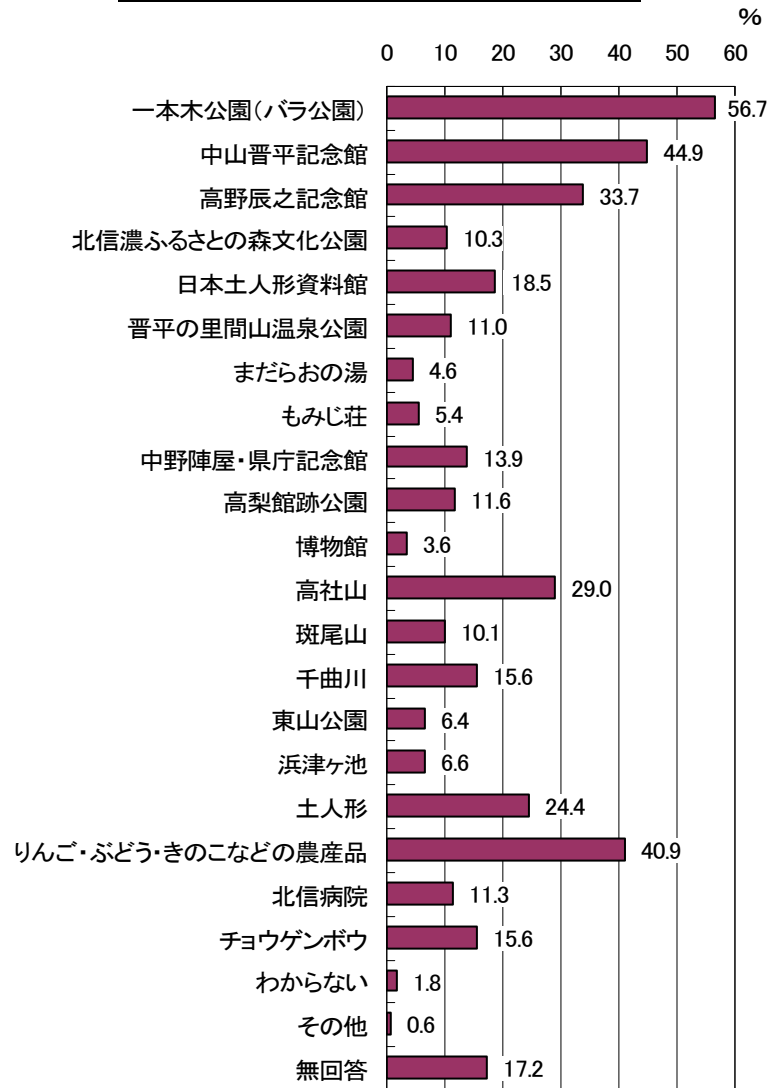
※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、「技術力の向上、技術革新」「先進的な取り組み情報の提供」「産業間の連携・異業種の交流」「経営の近代化・情報化」「環境問題への取り組み」「地域間交流の推進」などの項目で大きく構成比が減少し、「後継者・人材の確保・育成」「地域ブランドの確立とPR」「観光農業、体験農業の推進」「加工産業の育成」「地産地消の促進」といった項目で構成比が増加するなど、基盤・基礎的な取り組みから、より戦略的な取り組みへの変化がみられます。

問 21-① あなたは、本市の誇り、本市を代表するものとして、どのようなものをお考えですか。また、観光など、まちづくりに積極的に活用すべきものをどのようにお考えですか。①代表するもの(○はいくつでも)

	人数	割合(%)
一本木公園(バラ公園)	685	56.7
中山晋平記念館	542	44.9
高野辰之記念館	407	33.7
北信濃ふるさとの森文化公園	125	10.3
日本土人形資料館	223	18.5
晋平の里間山温泉公園	133	11.0
まだらおの湯	55	4.6
もみじ荘	65	5.4
中野陣屋・県庁記念館	168	13.9
高梨館跡公園	140	11.6
博物館	43	3.6
高社山	350	29.0
斑尾山	122	10.1
千曲川	188	15.6
東山公園	77	6.4
浜津ヶ池	80	6.6
土人形	295	24.4
りんご・ぶどう・きのこなどの農産品	494	40.9
北信病院	136	11.3
チョウゲンボウ	188	15.6
わからない	22	1.8
その他	7	0.6
無回答	208	17.2
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

市の誇り、市を代表するもの(総数1,208、複数回答)



●本市の誇り・代表的なものとしては、「一本木公園(バラ公園)」「中山晋平記念館」「りんご・ぶどう・きのこなどの農産品」をあげる声が多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 21-① あなたは、本市の誇り、本市を代表するものとして、どのようなものをお考えですか。また、観光など、まちづくりに積極的に活用すべきものをどのようにお考えですか。①代表するもの(○はいくつでも)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
一本木公園(バラ公園)	51.8	56.7
中山晋平記念館	46.8	44.9
高野辰之記念館	30.8	33.7
北信濃ふるさとの森文化公園	11.3	10.3
日本土人形資料館	16.0	18.5
晋平の里間山温泉公園	15.6	11.0
まだらおの湯	4.8	4.6
もみじ荘	4.1	5.4
中野陣屋・県庁記念館	11.1	13.9
高梨館跡公園	9.0	11.6
博物館	—	3.6
高社山	25.4	29.0
斑尾山	8.1	10.1
千曲川	13.9	15.6
東山公園	4.2	6.4
浜津ヶ池	3.3	6.6
土人形	22.3	24.4
りんご・ぶどう・きのこなどの農産品	34.2	40.9
北信病院	—	11.3
チョウゲンボウ	10.4	15.6
わからない	3.6	1.8
その他	—	0.6
無回答	11.6	17.2
	100.0	100.0

※数値は比率が上昇したもの

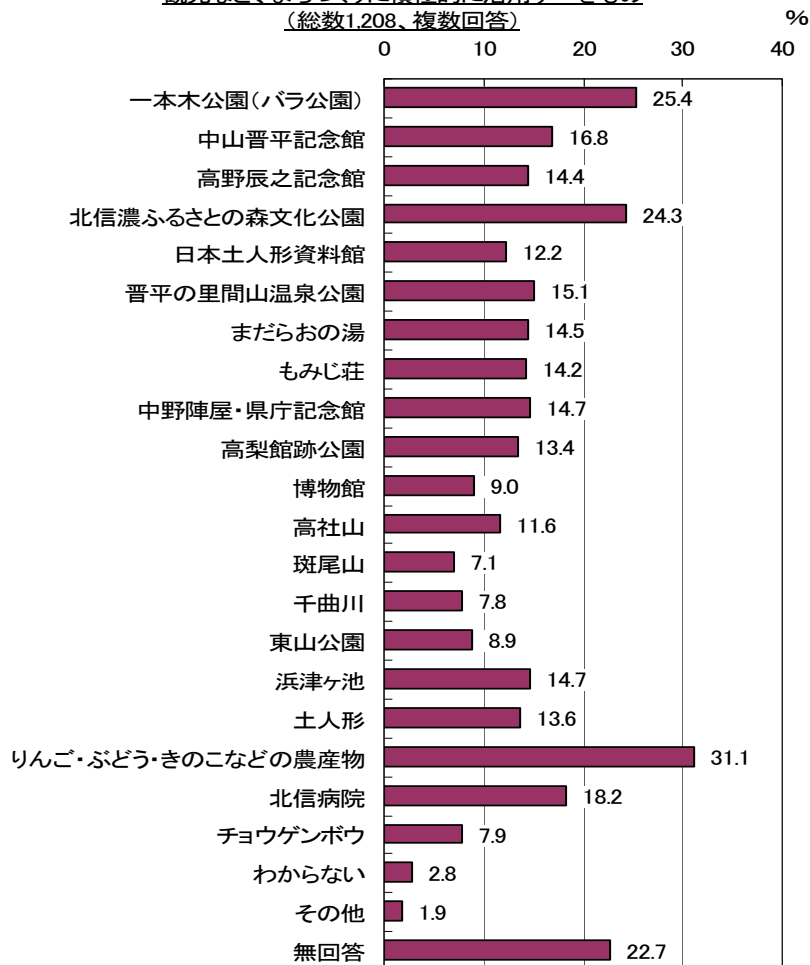
●前回調査との比較では、「一本木公園(バラ公園)」をはじめ多くの事項で構成比が増加しており、誇り・代表資源の多様化がみられます。

問 21-② あなたは、本市の誇り、本市を代表するものとして、どのようなものをお考えですかまた、観光など、まちづくりに積極的に活用すべきものをどのようにお考えですか。②活用すべきもの。(〇はいくつでも)

	人数	割合(%)
一本木公園(バラ公園)	307	25.4
中山晋平記念館	203	16.8
高野辰之記念館	174	14.4
北信濃ふるさとの森文化公園	294	24.3
日本土人形資料館	147	12.2
晋平の里間山温泉公園	183	15.1
まだらおの湯	175	14.5
もみじ荘	172	14.2
中野陣屋・県庁記念館	178	14.7
高梨館跡公園	162	13.4
博物館	109	9.0
高社山	140	11.6
斑尾山	86	7.1
千曲川	94	7.8
東山公園	108	8.9
浜津ヶ池	178	14.7
土人形	164	13.6
りんご・ぶどう・きのこなどの農産物	376	31.1
北信病院	220	18.2
チョウゲンボウ	96	7.9
わからない	34	2.8
その他	23	1.9
無回答	274	22.7
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

●活用すべき資源としては、「りんご・ぶどう・きのこなどの農産物」「一本木公園(バラ公園)」「北信濃ふるさとの森文化公園」をあげる声が多くなっています。

観光など、まちづくりに積極的に活用すべきもの  
(総数1,208、複数回答)



問 22 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の経済面の暮らしやすさを考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。(〇は1つ)(総数 1,208、単位%)

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
ア)生活を支える十分な所得	1.1	4.7	36.3	30.1	21.3	6.5
イ)職場のみつげやすさ	0.2	1.2	27.2	36.4	23.8	11.2
ウ)住宅・宅地の求めやすさ	1.7	4.4	56.9	16.8	7.0	13.3
エ)新鮮でおいしい食べ物の豊かさ、安さ	6.5	27.9	48.7	7.5	2.2	7.2
オ)教養、娯楽、レクリエーション活動にかかる費用の安さ	1.2	6.0	59.4	18.3	4.6	10.5
カ)水道料金や各種行政サービスの使用料などの水準	0.8	3.9	45.4	32.0	11.1	6.8
キ)全体的な物価の安さ	0.7	5.0	58.8	21.0	6.7	7.9

●経済性については、「新鮮でおいしい食べ物の豊かさ、安さ」で評価が高いほかは、「所得」「職場」「住宅・宅地」「余暇活動費」「公共料金等」「物価」などすべての項目で厳しい評価となっています。

《前回調査との比較》

■問 21-② あなたは、本市の誇り、本市を代表するものとして、どのようなものをお考えですかまた、観光など、まちづくりに積極的に活用すべきものをどのようにお考えですか。②活用すべきもの。(〇はいくつでも)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
一本木公園(バラ公園)	23.1	25.4
中山晋平記念館	12.4	16.8
高野辰之記念館	9.2	14.4
北信濃ふるさとの森文化公園	20.9	24.3
日本土人形資料館	7.5	12.2
晋平の里間山温泉公園	16.4	15.1
まだらおの湯	10.1	14.5
もみじ荘	7.1	14.2
中野陣屋・県庁記念館	7.8	14.7
高梨館跡公園	8.2	13.4
博物館	—	9.0
高社山	7.3	11.6
斑尾山	4.3	7.1
千曲川	8.2	7.8
東山公園	9.1	8.9
浜津ヶ池	11.2	14.7
土人形	11.5	13.6
りんご・ぶどう・きのこなどの農産物	31.9	31.1
北信病院	—	18.2
チョウゲンボウ	6.0	7.9
わからない	5.9	2.8
その他	—	1.9
無回答	19.9	22.7
	100.0	100.0

※数値は比率が上昇したもの

●前回調査と比較すると、多くの事項で構成比が多くなっており、資源の多様化がみられます。特に「北信病院」をあげる声が大きくなっています。

## 8 地域活動への参加や市政との関わりについておたずねします。

問 23-① あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	参加している	参加していない	無回答
ア)自治会(区)や子ども会、老人クラブなどの地域活動	40.1	48.9	10.9
イ)お年寄りや障害のある人などへの福祉ボランティア活動	6.6	77.6	15.8
ウ)環境保全やまちづくりなどの自主的な住民活動	16.8	66.3	16.9
エ)学校のPTAや保育園の保護者会などの役員	13.7	67.2	19.0
オ)スポーツ・レクリエーション活動や文化、学習活動	28.8	56.2	15.0
カ)子どもの交通安全や地域の防犯パトロールなどの活動	17.2	66.3	16.5
キ)農業、商業、観光など経済を活性化させる活動	10.8	72.7	16.5

●地域活動への参加については、「福祉ボランティア活動」「経済を活性化させる活動」などの参加率が高くなっています。

問 23-② あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	参加したい	頼まれれば参加する	参加したくない	わからない	無回答
ア)自治会(区)や子ども会、老人クラブなどの地域活動	14.8	33.5	13.5	15.1	23.0
イ)お年寄りや障害のある人などへの福祉ボランティア活動	9.0	39.4	13.4	20.2	18.0
ウ)環境保全やまちづくりなどの自主的な住民活動	11.3	36.0	11.3	20.3	21.2
エ)学校のPTAや保育園の保護者会などの役員	4.6	25.2	21.5	23.0	25.7
オ)スポーツ・レクリエーション活動や文化、学習活動	22.7	27.2	12.1	15.4	22.7
カ)子どもの交通安全や地域の防犯パトロールなどの活動	10.0	43.4	10.9	15.8	19.9
キ)農業、商業、観光など経済を活性化させる活動	12.5	33.5	11.7	24.3	18.0

●地域活動への今後の参加意向は、「スポーツ・レクリエーション活動や文化、学習活動」が比較的多くなっています。



《前回調査との比較》

■問 23-① あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。(○は1つ)(単位%) (括弧内は平成 17 年 10 月調査値)

	参加している	参加していない	無回答
ア)自治会(区)や子ども会、老人クラブなどの地域活動	40.1(31.3)	48.9(59.2)	10.9(9.6)
イ)お年寄りや障害のある人などへの福祉ボランティア活動	6.6(7.2)	77.6(80.2)	15.8(12.7)
ウ)環境保全やまちづくりなどの自主的な住民活動	16.8(12.5)	66.3(73.0)	16.9(14.5)
エ)学校のPTAや保育園の保護者会などの役員	13.7(13.5)	67.2(70.3)	19.0(16.3)
オ)スポーツ・レクリエーション活動や文化、学習活動	28.8(24.5)	56.2(61.5)	15.0(14.0)
カ)子どもの交通安全や地域の防犯パトロールなどの活動	17.2(14.4)	66.3(71.3)	16.5(14.3)
キ)農業、商業、観光など経済を活性化させる活動	10.8(8.1)	72.7(77.0)	16.5(14.8)

※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、「福祉ボランティア活動」を除いて、すべての活動で参加率が上昇しており、活動が活発化しているようすがうかがえます。

■問 23-② あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。(○は1つ)(単位%) (括弧内は平成 17 年 10 月調査値)

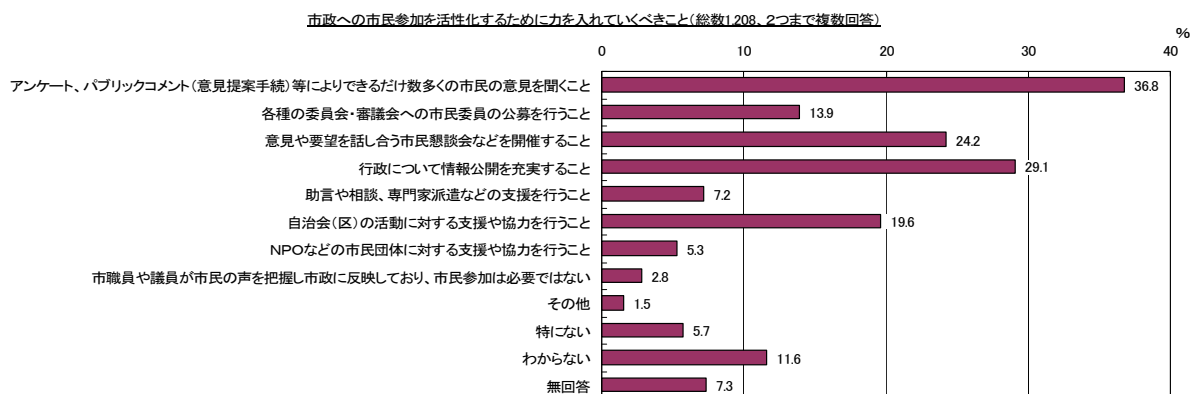
	参加したい	頼まれれば参加する	参加したくない	わからない	無回答
ア)自治会(区)や子ども会、老人クラブなどの地域活動	14.8(14.2)	33.5(32.7)	13.5(15.6)	15.1(19.0)	23.0(18.6)
イ)お年寄りや障害のある人などへの福祉ボランティア活動	9.0(10.5)	39.4(36.8)	13.4(13.5)	20.2(22.1)	18.0(17.0)
ウ)環境保全やまちづくりなどの自主的な住民活動	11.3(9.6)	36.0(36.4)	11.3(12.9)	20.3(22.0)	21.2(19.1)
エ)学校のPTAや保育園の保護者会などの役員	4.6(4.4)	25.2(25.5)	21.5(23.6)	23.0(24.3)	25.7(22.1)
オ)スポーツ・レクリエーション活動や文化、学習活動	22.7(23.2)	27.2(28.2)	12.1(11.4)	15.4(17.3)	22.7(19.8)
カ)子どもの交通安全や地域の防犯パトロールなどの活動	10.0(6.4)	43.4(40.3)	10.9(14.2)	15.8(20.0)	19.9(19.1)
キ)農業、商業、観光など経済を活性化させる活動	12.5(10.0)	33.5(31.7)	11.7(14.6)	24.3(25.3)	18.0(18.4)

※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、参加意欲が高まっている活動が多く、特に「地域の防犯パトロールなどの活動」への関心が高くなっています。

問 24 あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は2つまで)

	人数	割合(%)
アンケート、パブリックコメント(意見提案手続)等によりできるだけ数多くの市民の意見を聞くこと	445	36.8
各種の委員会・審議会への市民委員の公募を行うこと	168	13.9
意見や要望を話し合う市民懇談会などを開催すること	292	24.2
行政について情報公開を充実すること	351	29.1
助言や相談、専門家派遣などの支援を行うこと	87	7.2
自治会(区)の活動に対する支援や協力を行うこと	237	19.6
NPOなどの市民団体に対する支援や協力を行うこと	64	5.3
市職員や議員が市民の声を把握し市政に反映しており、市民参加は必要ではない	34	2.8
その他	18	1.5
特にない	69	5.7
わからない	140	11.6
無回答	88	7.3
回答者数(%ベース)	1,208	100.0



- 市民参加のために、「数多くの市民の意見を聞くこと」が重要とする人が特に多くなっています。
- 「情報公開」「市民懇談会などの開催」も比較的多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 24 あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は2つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
アンケート、パブリックコメント(意見提案手続)等によりできるだけ数多くの市民の意見を聞くこと	33.8	36.8
各種の委員会・審議会への市民委員の公募を行うこと	11.6	13.9
意見や要望を話し合う市民懇談会などを開催すること	22.1	24.2
行政について情報公開を充実すること	32.2	29.1
助言や相談、専門家派遣などの支援を行うこと	10.2	7.2
自治会(区)の活動に対する支援や協力を行うこと	18.3	19.6
NPOなどの市民団体に対する支援や協力を行うこと	5.6	5.3
市職員や議員が市民の声を把握し市政に反映しており、市民参加は必要ではない	2.2	2.8
その他	1.6	1.5
特にない	6.4	5.7
わからない	14.6	11.6
無回答	6.2	7.3
	100.0	100.0

※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、「数多くの市民の意見を聞くこと」をはじめ、多くの項目で構成比が大きくなっており、意見が多様化しています。

問 25 あなたは、市の情報を得る手段として、何をどの程度利用していますか。(○は1つ)(総数 1,208、単位%)

	よく 利用する	たまに 利用する	利用しない	無回答
ア)市が発行する広報紙(広報なかのなど)で	48.5	37.1	7.5	7.0
イ)新聞・ローカル紙などで	41.6	39.2	10.6	8.6
ウ)テレビ・ラジオで	21.4	39.5	27.5	11.7
エ)ケーブルテレビ・音声告知放送などで	19.1	34.9	35.3	10.6
オ)家族・知人など、人から聞く	19.3	56.5	12.3	11.9
カ)自治会(区)の掲示板・回覧板などを見る	31.8	40.7	17.1	10.3
キ)市のホームページを見る	7.0	20.3	60.1	12.7
ク)説明会など地域での集會に参加する	7.7	34.7	46.5	11.1

●市の情報の入手手段としては、「広報紙」「新聞など」「自治会掲示板・回覧板」などが多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 25 あなたは、市の情報を得る手段として、何をどの程度利用していますか。(○は1つ)(単位%)(括弧内は平成 17 年 10 月調査値)

	よく 利用する	たまに 利用する	利用しない	無回答
ア)市が発行する広報誌(広報なかのなど)で	48.5(42.9)	37.1(38.7)	7.5(11.1)	7.0(7.3)
イ)新聞・ローカル紙などで	41.6(49.4)	39.2(34.2)	10.6(8.2)	8.6(8.2)
ウ)テレビ・ラジオで	21.4(24.3)	39.5(36.1)	27.5(27.8)	11.7(11.8)
エ)ケーブルテレビ・音声告知放送などで	19.1(13.5)	34.9(28.6)	35.3(45.5)	10.6(12.4)
オ)家族・知人など、人から聞く	19.3(21.7)	56.5(53.8)	12.3(12.5)	11.9(11.9)
カ)自治会(区)の掲示板・回覧板などを見る	31.8(44.5)	40.7(36.4)	17.1(11.3)	10.3(7.8)
キ)市のホームページを見る	7.0(5.9)	20.3(16.4)	60.1(64.7)	12.7(12.9)
ク)説明会など地域での集會に参加する	7.7(5.0)	34.7(23.6)	46.5(59.3)	11.1(12.0)

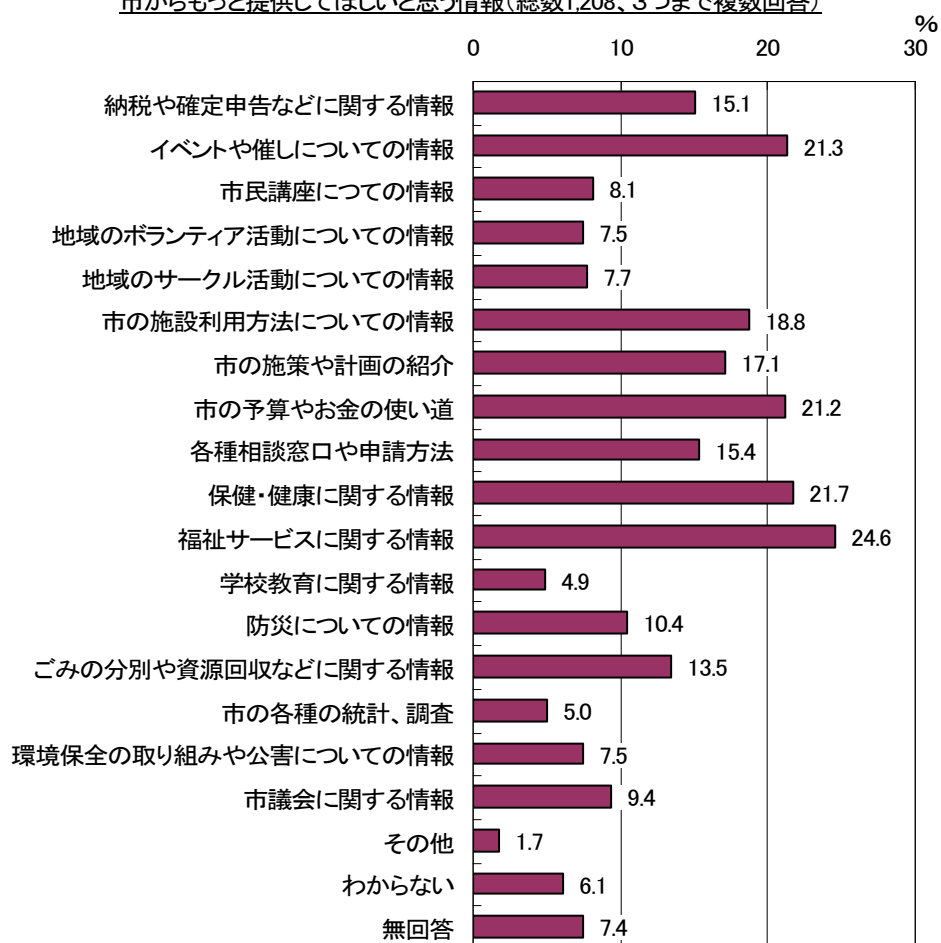
※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、「広報紙」「ケーブルテレビ等」「市のホームページ」「地域集會」などで増加傾向がみられ、情報化の進展と直接対話が進んでいることがうかがえます。

問 26 あなたは、市から「もっと提供して欲しい」と思う情報はどのようなものですか。(〇は3つまで)

	人数	割合(%)
納税や確定申告などに関する情報	183	15.1
イベントや催しについての情報	257	21.3
市民講座についての情報	98	8.1
地域のボランティア活動についての情報	90	7.5
地域のサークル活動についての情報	93	7.7
市の施設利用方法についての情報	227	18.8
市の施策や計画の紹介	207	17.1
市の予算やお金の使い道	256	21.2
各種相談窓口や申請方法	186	15.4
保健・健康に関する情報	262	21.7
福祉サービスに関する情報	297	24.6
学校教育に関する情報	59	4.9
防災についての情報	126	10.4
ごみの分別や資源回収などに関する情報	163	13.5
市の各種の統計、調査	61	5.0
環境保全の取り組みや公害についての情報	91	7.5
市議会に関する情報	113	9.4
その他	20	1.7
わからない	74	6.1
無回答	89	7.4
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

市からもっと提供してほしいと思う情報(総数1,208、3つまで複数回答)



●提供を望む情報については、複雑化する「福祉サービス関連情報」「保健・健康関連情報」をはじめ、「イベント等の情報」「市の財政運営関連情報」などが比較的多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 26 あなたは、市から「もっと提供して欲しい」と思う情報はどのようなものですか。(〇は3つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
納税や確定申告などに関する情報	15.8	15.1
イベントや催しについての情報	24.6	21.3
市民講座についての情報	10.2	8.1
地域のボランティア活動についての情報	5.9	7.5
地域のサークル活動についての情報	10.1	7.7
市の施設利用方法についての情報	19.5	18.8
市の施策や計画の紹介	14.4	17.1
市の予算やお金の使い道	20.7	21.2
各種相談窓口や申請方法	12.7	15.4
保健・健康に関する情報	20.3	21.7
福祉サービスに関する情報	24.5	24.6
学校教育に関する情報	8.3	4.9
防災についての情報	9.0	10.4
ごみの分別や資源回収などに関する情報	16.1	13.5
市の各種の統計、調査	2.7	5.0
環境保全の取り組みや公害についての情報	8.3	7.5
市議会に関する情報	8.4	9.4
その他	1.2	1.7
わからない	9.0	6.1
無回答	5.3	7.4
	100.0	100.0

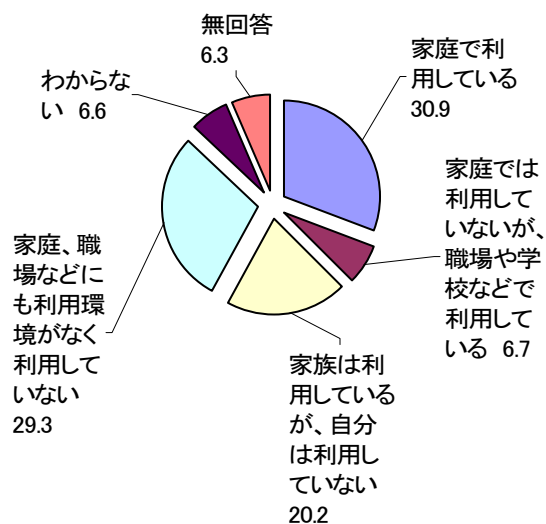
※**数値**は比率が上昇したもの

●「施策・計画関連情報」をはじめ、多くの分野について関心が高まっています。

問 27 お宅(家庭)では、インターネットを利用していますか。(○は1つ)

	人数	割合(%)
家庭で利用している	373	30.9
家庭では利用していないが、職場や学校などで利用している	81	6.7
家族は利用しているが、自分は利用していない	244	20.2
家庭、職場などにも利用環境がなく利用していない	354	29.3
わからない	80	6.6
無回答	76	6.3
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

インターネットの利用度(総数1,208、単位%)



●インターネット利用については、「家庭で利用」「利用環境がなく利用していない」が拮抗しており、何らかのかたちで利用している人は、あわせて 38%程度となっています。

●家庭での利用率は、前回 24.4%、今回 30.9%と上昇しています。

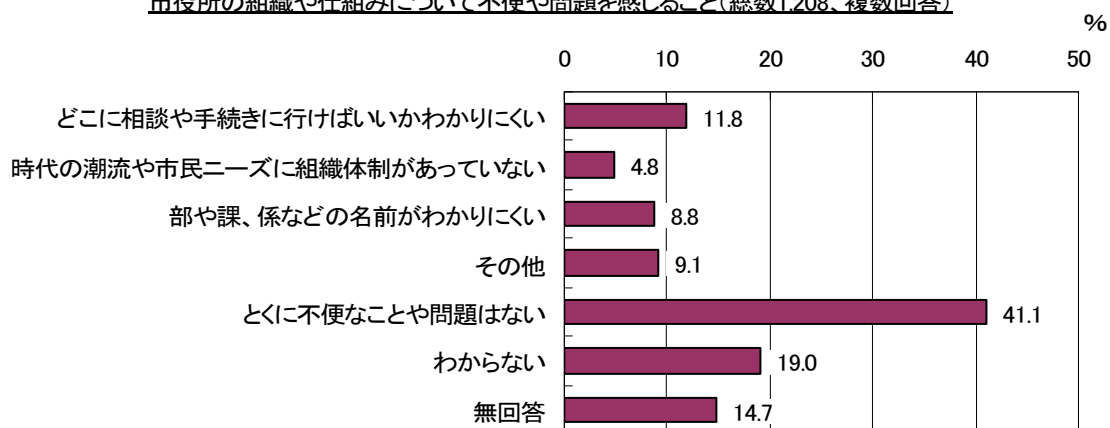


## 9 市役所の仕事についておたずねします。

問 28 市役所の組織や仕組みなどについて、どのような不便や問題をお感じですか。(〇はいくつでも)

	人数	割合(%)
どこに相談や手続きに行けばいいかわかりにくい	143	11.8
時代の潮流や市民ニーズに組織体制があっていない	58	4.8
部や課、係などの名前がわかりにくい	106	8.8
その他	110	9.1
とくに不便なことや問題はない	497	41.1
わからない	230	19.0
無回答	177	14.7
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

市役所の組織や仕組みについて不便や問題を感じること(総数1,208、複数回答)

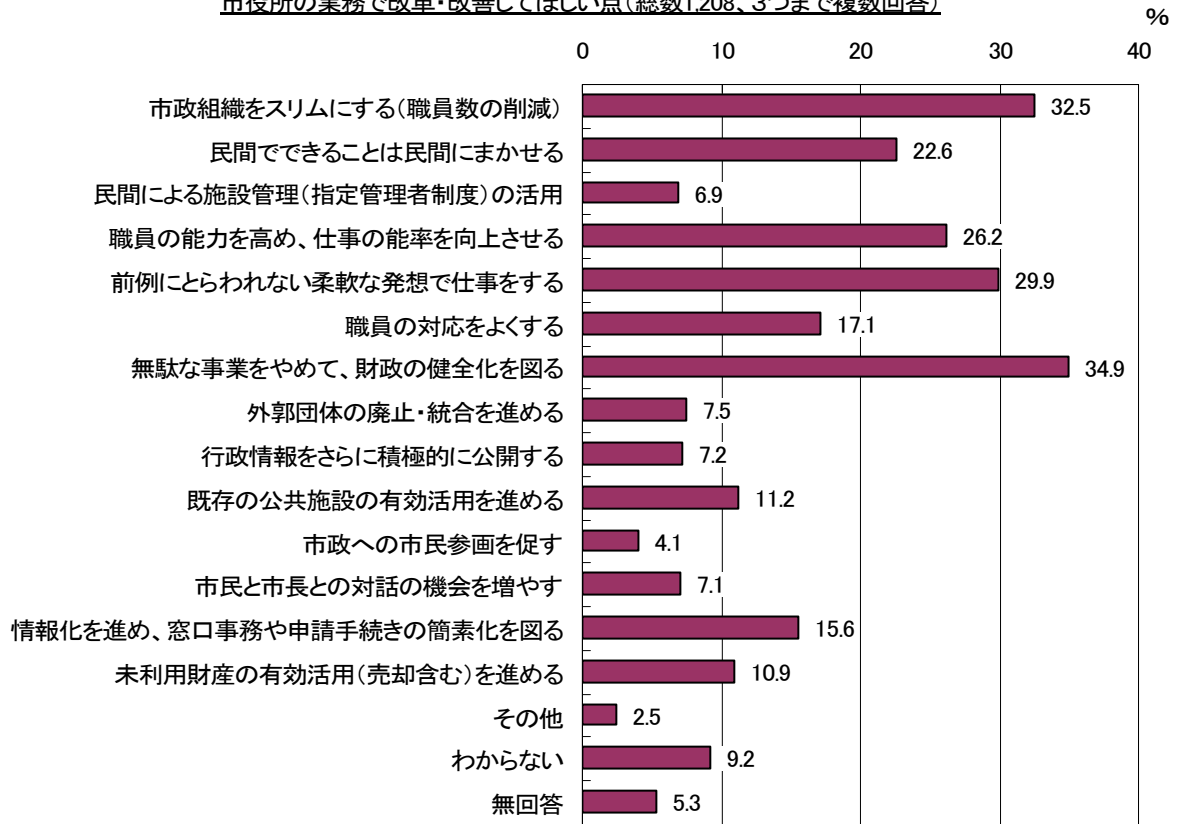


●市役所の不便な点については、「とくにない」という声が多くなっていますが、「どこに相談や手続きに行けばいいかわかりにくい」という声も依然として少なくありません。

問 29 市役所の業務で、改革・改善してほしいものは何ですか。(〇は3つまで)

	人数	割合(%)
市政組織をスリムにする(職員数の削減)	392	32.5
民間でできることは民間にまかせる	273	22.6
民間による施設管理(指定管理者制度)の活用	83	6.9
職員の能力を高め、仕事の能率を向上させる	317	26.2
前例にとらわれない柔軟な発想で仕事をする	361	29.9
職員の対応をよくする	207	17.1
無駄な事業をやめて、財政の健全化を図る	422	34.9
外郭団体の廃止・統合を進める	91	7.5
行政情報をさらに積極的に公開する	87	7.2
既存の公共施設の有効活用を進める	135	11.2
市政への市民参画を促す	49	4.1
市民と市長との対話の機会を増やす	86	7.1
情報化を進め、窓口事務や申請手続きの簡素化を図る	188	15.6
未利用財産の有効活用(売却含む)を進める	132	10.9
その他	30	2.5
わからない	111	9.2
無回答	64	5.3
回答者数(%ベース)	1,208	100.0

市役所の業務で改革・改善してほしい点(総数1,208、3つまで複数回答)



●改革・改善すべき業務としては、「無駄を廃し、財政の健全化」「組織のスリム化」「前例主義を廃した柔軟な発想」などが比較的多くなっています。

《前回調査との比較》

■問 29 市役所の業務で、改革・改善してほしいものは何ですか。(〇は3つまで)(単位%)

	平成 17 年 10 月	平成 22 年 6 月
市政組織をスリムにする(職員数の削減)	34.4	32.5
民間でできることは民間にまかせる	18.7	22.6
民間による施設管理(指定管理者制度)の活用	4.6	6.9
職員の能力を高め、仕事の能率を向上させる	26.5	26.2
前例にとられない柔軟な発想で仕事をする	23.3	29.9
職員の対応をよくする	16.8	17.1
無駄な事業をやめて、財政の健全化を図る	11.7	34.9
外郭団体の廃止・統合を進める	8.0	7.5
行政情報をさらに積極的に公開する	9.1	7.2
既存の公共施設の有効活用を進める	11.8	11.2
市政への市民参画を促す	4.7	4.1
市民と市長との対話の機会を増やす	8.3	7.1
情報化を進め、窓口事務や申請手続きの簡素化を図る	16.1	15.6
未利用財産の有効活用(売却含む)を進める	7.7	10.9
その他	2.5	2.5
わからない	12.2	9.2
無回答	5.2	5.3
回答者数(%ベース)	100.0	100.0

\* 平成 17 年 10 月調査の、「公費を効果的に使う」26.0%、「財政の健全化」11.6%が、今回調査の「無駄な事業をやめて、財政の健全化を図る」にほぼ相当する。

※数値は比率が上昇したもの

●前回調査との比較では、厳しい地方財政状況を反映し、「無駄を廃し、財政の健全化」が特に多くなる傾向にあります。